

普及活動検討会実施報告書

気仙沼農業改良普及センター

実施月日：令和5年2月6日

実施場所：気仙沼合同庁舎オープンラボ

1 検討内容

No	検討項目
1	プロ課題 No. 1 「市場等ニーズに応じた花き・花木生産による経営発展」
2	プロ課題 No. 2 「いちごの栽培技術レベルアップによる収量向上」
3	プロ課題 No. 3 「持続的な地域営農の実現に向けた担い手の経営安定」

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	2	マスコミ	1
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 1 「市場 等ニーズに 応じた花き ・花木生産 による経営 発展」	4.3	<ul style="list-style-type: none">支援方法が適確に行われており、普及センターと農業者の連携も良いと思う。新規栽培者及び栽培面積拡大に期待する。出荷調整施設整備、播種機の導入、出荷率向上等成果が上がっていることは評価できる。需要があるので引き続き栽培面積拡大、持続可能な花木生産の確立を図ってほしい。若干の計画の遅れはあるものの概ね目標達成となっていると感じる。栽培面積の拡大も図られており評価できる。当地域でも先進的な取り組みであり、今後も規模拡大を目指しており、町としても期待している。きめ細かな支援を評価するとともに、今後もきく栽培を含めた法人経営の安定等支援をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none">今後は管内の生産者を増やすため、町内の農家を対象とした見学会等を実施し、クロマツ生産の広報活動を行います。栽培面積の拡大を図るため、電動播種の検討、除草剤現地試験、調整作業軽労化調査の実施により作業の省力化を図っていきます。きくの生産支援も継続し、クロマツときくによる周年雇用の確立を図っていきます。

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 2 「いちごの栽培技術レベルアップによる収量向上」	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培指導, 生産者の交流などによって平均収量の大幅増は評価できる。生産, 経営安定に向け引き続き支援をお願いしたい。 ・データによる数値化した指導や生産者間の情報共有の必要性, いちごだよりの作成などの取組みが成果として現れている。 ・収量差の解消に向け, 技術習得支援の他, 生産者間の情報共有にも取り組み, 成果を上げている。 ・データを活用した栽培管理によって収量向上が図られ, ハウス内環境の見える化や栽培管理の改善により前年比で大幅な増収があったことを評価したい。今後とも生産者間の交流や農薬研修等により収量の増大を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もいちご生産者に対するきめ細やかな生産, 経営支援を行っていきます。 ・データを活用した栽培管理については, 今後は重点活動として支援を継続していきます。
プロ課題 No. 3 「持続的な地域営農の実現に向けた担い手の経営安定」	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・平均単収 500kg 以上に期待。オペレーターの園芸部門にも期待する。 ・これから, ますます支援が必要と思われるので, 今後も継続的な支援をお願いしたい。 ・中山間地農業の究極の課題である後継者問題や持続的な農業経営に向けた各種栽培技術向上支援, 鳥獣対策支援等, 非常に難しい問題に取り組んでいることに対し評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も組合とオペレーターに対する生産, 経営支援を行っていきます。 ・組合については, 今後は重点活動として, 町, J A と連携しながら支援を継続していきます。